

くみあいだより

KUMIAI DAYORI



2025

4・5



国際協同組合年



特集1

**体質の強い、高品質ミカン生産に向けた栽培管理を
令和6年産ミカンの販売結果と今後の課題について**

特集2

**就農1年目に何を伝えますか？
柑橘生産指導審議会誌面インタビュー**



HP



LINE

体質の強い、高品質ミカン生産に向けた栽培管理を 令和6年産ミカンの販売結果と今後の課題について

JA静岡経済連
販売情報センター 水野光



機能性表示食品
光センサー

概況 令和6年産ミカンの 作柄と販売環境

ミカンの作柄と果実内容

令和6年は開花・満開は前年とほぼ同程度、平年より1週間ほど早くまりました。着花状況は前年が裏年であったため、県全体では表年傾向でしたが、産地や地域、園地や樹ごとのバラツキは大きい傾向となりました。

果実肥大は夏期の高湿・乾燥から平年よりやや小玉で推移、秋期以降の降雨により平年並みまで回復しました。着色は秋期の気温高から平年より遅れ、11月下旬以降の気温低下により平年並みまで回復しました。外観は黒点病や風スレ果の発生が多い傾向にありました。果実内容は開花が早く、秋期以降の降雨が多いことから酸切れが早い傾向でした。収穫前の好天により糖度は回復し、平年並みの食味の果実に仕上がりました。

12月10日時点の日園連発表の全国の温州ミカン生産予想量は58.5万トン

(前年比88%)と全国的に前年を下回る見込みとなりました。本県産は開花時点では表年傾向でしたが、カメムシの吸汁被害や日焼け果と裂果の発生、秋期の降雨と気温高による樹上での腐敗などの影響から、生産予想量は前年を下回る、前年比88%が見込まれました。

販売環境

早生ミカンは10月下旬より西日本産地が入荷開始。極早生ミカンの切り上がり早く、流通在庫も少なかったため、早生ミカンへの切り替えはスムーズに進みました。11月中旬以降、主産地が出揃いましたが、着色遅れや降雨による収穫遅れから、市場入荷量の増加は鈍く、流通在庫は少ないまま推移しました。出荷が進むにつれ下方修正となる産地が多く、不足感が強まって高値が維持されました。

普通ミカンは、12月中旬に主産地からの出荷が出揃いました。温州ミカンの入荷は最盛期を迎えましたが、各県からの

販売経過 青島ミカン

年内の販売状況

相場は年内から一部の等階級で上げの展開となり、その後も他県産の入荷が少なく、本県産の引き合いは強まりました。相場は徐々に上がり、過去にない販売単価が続きました。しかし、1月下旬以降は徐々に高値疲れが出始め、荷動きは鈍化しました。2月以降は市場入荷量がさらに減少したため、相場はレギュラー品の最終出荷まで維持されました。

販売経過 早生ミカン

マルエム産早生ミカンは11月10日から出荷開始。日焼け果の発生やカメムシの被害もあり当初見込みよりも減少し、本会取り扱いの6194ト(前年比80%)の出荷実績となりました。

果実内容は糖・酸ともにバランスの取れた果実に仕上がりました。量販店の売り場は、露地ミカンの全国的な供給不足から売価は高く設定されました。果実類全般に売価設定が平年に比べて高く、競合品目の入荷が少なかったため、堅調な販売となりました。

マルエム産は安定した高品質果実生産への信頼と選果選別の徹底、安定した計画出荷により市場・仲卸からの評価は高く、固定客からの注文も継続してありました。

年明けの販売状況

年末の荷動きは良好で、市場在庫量は平年を大きく下回る状況で初市を迎えました。他県産の越年在庫も過去にないほど少なく、マルエム産への期待は高まり、引き合いも強まりました。初市相場は、年末価格からの横ばいで販売。

その後も西日本産地の越年量が平年に比べ少なく、不足感は強く、1月下旬に向けて相場は上げの展開となりました。しかし、1月下旬から温州ミカン全体で高値疲れが徐々に感じられるようになり、2月以降、単価は維持されたものの例年に比べて流通在庫は増加

となりました。本年の青島レギュラー品は2月21日販売で終了しました。
「濃蜜青島」は2月25日〜3月1日販売で、高い食味評価を得ました。続いて「本貯蔵青島」は3月3日〜4月4日販売で、温州ミカンの入荷産地が限られる中、市場や仲卸からの要請は強く、貯蔵技術の高いマルエム産地は大きく期待が寄せられています。

まとめ 着果量を確保し 高品質ミカンの供給を

令和6年産は、6月および8月の降水量が平年より多く、前半の防除に苦労しましたが、年明け1月から2月の気温は平年並みに推移し、貯蔵中のロスはない年となりました。こうしたなか、生産者の皆さまが出荷した温州ミカンは家庭選果の徹底により、「食味良好で棚持ちの良い高品質なミカン」と流通関係者から高い評価を得ました。

令和6年産は市場や実需者からもマルエム産ミカンの出荷要請が多く聞かれました。産地として、高品質なミカンを安定的に消費者に届けることが大切です。

令和7年は裏年傾向のため、まずは着果量を確保し、「体質の強い高品質ミカン」の供給をお願いします。

- ・着果量の適正化(着果過多に注意)
- ・浮き皮対策の徹底(GP剤・カルシウム剤の散布)
- ・計画的な適期収穫の実施

生産者の皆さまは毎年の異常気象により、ミカン栽培には大変なご苦労があると思いますが、「マルエムブランド」の維持・発展に向けての取り組みをお願いいたします。



令和6年産マルエム三ヶ日みかん 市場実績		
合計 (中晩柑含む)	114億円 (前年比 129%)	27,720トン (前年比 92%)
早生	22.6億円 (前年比 97%)	6,800トン (前年比 79%)
青島	88.7億円 (前年比 141%)	17,892トン (前年比 99%)

入荷量は少なく、流通在庫も少なく推移しました。下旬以降は贈答需要や年末年始に向けて引き合いは強まりました。競合品目のイチゴは入荷量が少なく、温州ミカンの相場は高値基調が続きました。

年明けは各産地の越年残荷や年明け出荷の残量は平年に比べて少なく、競合品目も数量減の単価高で推移、店頭で温州ミカンの売り場が維持されました。この状況からミカンの引き合いは強まり、

だいていると思いますが、今一度以下の3点について確認をお願いします。

審議委員に聞きました 「就農1年目の自分に伝えたいことは？」

審議会のメンバーは経験豊富な優良生産者。同じ条件下でも優れた栽培を実践し、良いミカン、良い農業経営を実現しています。もちろん、そんな名人の皆さんにも就農1年目がありました。4月30日に井口組合長から委嘱状を受けた第8期柑橘生産指導審議会の6名の審議委員に「就農1年目の自分に、今ならどんなアドバイスをしますか？」をテーマにインタビューしました。



丁寧な仕事が、ミカンを変える道に

委員長 坪井 和典さん(大崎南) 2期目

就農当時、おじいさんからよく怒られて、あまり褒められた記憶はありません(笑)。良いミカンが採れなくて、加工原料になるようなミカンも多かった。今思うと、防除や仕事が雑で、やらないといけない仕事が抜けていた。ただミカンが悪くて困ったものですから、丁寧な仕事を心がけてから、ミカンは段々と良くなりました。

これから定年退職で就農する方も出てくると思います。規模も設備もさまざまだと思いますが、手一杯だと、「ミカンは悪い。でも援農者がいないと収穫もままならない」という苦勞をします。拡大する場合は、まず丁寧にミカンを作ることを覚えてから。管理が回らないなら、「改植」で作業量を調整することも長い目で見れば正解な場合も多いです。



作業は“順番”と“目的”が命

片山 雅詞さん(宇志) 2期目

就農1年目は大体、目に入るのは自分の園地だけ。でも他の人の畑を見て、教えてもらうのが大切です。組織に加入したことで優良なミカン作りを見る機会が多くなりました。就農当初はそもそも良いミカンが何か？ 悪いミカンが何か？ このくらいのこともわからないんです。

収穫期には樹に良いミカンだけを残したいです。売り物にならない悪いミカンに肥料を与え、収穫や選果をするのはお金も労力ももったいないことです。

そのために、きちんと畑に出て年間の基本作業を順番にこなすのが大切だと思います。例えば剪定を怠り、無駄な枝を残せば、防除や摘果、後の仕事の邪魔をします。一つの作業だけではダメで、一つ一つの作業の目標を決めて、順番にこなすことを大切にしています。



特集 「就農1年目に何を伝えますか？」 変化の中のミカン作りの道しるべ—柑橘生産指導審議会

猛暑、資材高、人手不足...環境の変化は、三ヶ日町のミカンづくりにも影響を及ぼしています。農業は自然が相手といいます。けれど今は、社会や経済の雨風も受けながらの仕事になっています。

だからこそ道しるべとなるのが、「いつ、なんのために、どんな管理をする」を明確に示す“生産指導方針”です。この指針が本当に活かしたものとして、産地の持続というゴールに向かうには、まず指針が正しく、現場でちゃんと理解され、実践される必要があります。

そこで大切な役割を担うのが「柑橘生産指導審議会」です。今回は、その審議会の役割と、委員の皆さんが語る「就農1年目の自分に伝えたいこと」をインタビュー形式で紹介します。



柑橘生産指導審議会とは？

Q.何のためにあるの？

より良いミカン作りの指針を作るためです。柑橘生産指導方針は、農協の営農指導、例えば青空座談会での営農指導員の説明にも反映されます。この指導方針が、実際に行動に移されるためには、現場の課題と知恵が欠かせません。そのため、ミカン生産者6名が現場の経験から、各種テーマについて営農指導員と意見を交わしています。

Q.審議委員はどうやって選ばれるの？

理事会の承認を得て、組合長から委嘱されます。推薦された優良生産者6名が、2期6年の任期で参画しています。

Q.実際にはどんな話し合いをしているの？

各テーマについて協議・検討が行われています。調査や試験にも協力しています。

□生産指導方針の検討

……防除暦・栽培暦を含めた年間栽培方針を考えます。

□産地持続化のための課題と対策の検討

……カメムシなど病害虫に対する防除対策
片面交互結実法などの新しい栽培方法の検討
ドローンなど新技術導入への対応と検討
温暖化対策としての栽培管理の見直し

□新薬剤や資材の比較試験協力と情報収集

【審議会に期待すること】 経験を産地の力と行動に

代表理事組合長 井口義朗



お願いしたいのは、まず“現場で実行できること”を念頭に置いた技術的な助言です。今の農業の環境はこれまでの技術だけでは手に負えないものも出てきました。組合員の皆さんの工夫や気づきを、農協の営農指導員と一緒に、地域全体の指導に活かしていくことが地元の産業である農業の持続の要です。営農指導もデジタル化を進めていますが、対面・対話も欠かせません。課題は短期、長期とさまざまですが、ひとつ具体的な依頼として1期3年の中で一年を通じたミカン作りの仕事を一目で一覧できる「栽培暦」をお願いしました。

三ヶ日みかんの未来は、個々の努力と、支え合いの仕組みの両方で成り立っています。審議会はその中核となる場。今後も実効性のある取り組みに期待しています。

基本を知れば、工夫が活きる

石川 功さん(上尾奈) 1期目

我流よりもまずは、基本に忠実にやることです。農協が青空座談会を開いて指導指針に沿った作り方を教えてくれています。私は今でも参加しますが、内容がしっかりしているなといつも感心しています。就農前でも受講できる柑橘基礎セミナーもありますね。せっかくの機会を活用しない手はないと思います。技術の向上に終わりはありませんが、基本の内容をすべてやれば、もう人並みの生産ができるんだろうと思います。

それぞれの農家特有のやり方もあると思います。ただ、基本を知らないとなぜアレンジしているかが、理解できません。まずは基本を知った上でアレンジしていくことが正しいステップアップだと思いますし、基本を知ること、自分の園地に合わせた最適な管理ができると思います。



失敗から学ぶ、10年の時間

山本 泰一郎さん(只木) 1期目

1年目は初めての経験ばかりで、失敗することも多いはず。大事なものは、その失敗の反省から「これはダメ」と自分に経験として叩き込んでおくことです。そこから考えると、いろいろな人の話を聞くことは価値があります。自分が体験していない他人の失敗談や成功談も経験値に変えることができるからです。自分が経験した時に深い学びがあります。

自分なりに理解したと思ったら、まず試してみます。当時は良かれと思ったことでも、振り返ると「なんでこんなことしたんだっけ?」と考えることがあります。昔、初めて聞いた切り上げ剪定の方法を「すごいな」と思って試したけれど、うまくいかない。その後、形だけ真似ても駄目で、養分の流れなどを理解して初めて有効なものだと、解釈ができるようになりました。理解して、思い通りの管理ができるようになると、ミカン作りはとても面白いです。

自分もそうでしたが、試したいことが、その家の栽培方針と折り合いが取れずにできないというのもよくあるんじゃないでしょうか。ただ、自分でゼロからやって10年くらい育てて初めて理解できることも多くあるなど実感しています。



事務局 柑橘指導課より (課長 成澤和久 係長 大野秀樹)

この樹にどんな作業が、どのくらい必要なのか? 年間の作業を覚えたら次は、なるべく畑に行って「見る力」を養うことが大切だと思います。良い畑だなど思う方はこれを実践しています。

インタビューを聞き、ミカン作りで困った時に、すぐに聞けたり話せたりする環境づくりの大切さを実感しています。座談会にも参加して、指導員にも頼ってください。また農協組織に参加すると、お互いが困った時の助けになると思います。

園地作りが未来をつくる

小宮山 哲哉さん(岡本) 2期目

SS(スピードスプレイヤー)が産地に導入される頃に就農しました。他県の産地にも学びに行きました。栽培技術も大切ですが、今となって感じるはその技術を使う足場である園地作りの大切さです。

園地の作り方は、その後何十年ものミカン作りの良し悪しに影響を与えます。その意味では、樹の骨組みである、苗の仕立て方も同じです。何年後になって「ここをこうしておけば、効率的に量も取れたな」と思うことがあります。

就農時は知識がありません。ただ、後からやり直しがききません。SSがそうでしたが、今後、ドローンや新しい栽培方法が普及する場合、それに合わせた園地作りが必要です。ミカン一度植えたら数十年付き合うものですから、どんなミカン作りをするかを考えた設計にしないとダメです。未知の部分も多いですが、積極的に、新しい知識を学べる場所に出て知識を得ておくと、後悔が無いと思います。



毎年、花を咲かせる基本管理

副委員長 竹平 慶伸さん(本坂) 1期目

就農当初は知識もなく、良いのか悪いのかもわからないまま、いろんなことをやりました。ミカン作りのことを聞こうにも、周りも指導員も年が離れていて、気軽に聞けなかったことを思い出します。花がないとミカンはならないし、ミカンがなければ農業所得になりません。なので、いかに毎年「花」を咲かせるような管理をするかが大切だと伝えたいです。

温暖化によって夏の暑さが厳しいです。人間もそうですが、暑さが厳しい分、基礎体力が大切です。近年は生産資材も高騰しています。ただ、長い目で見ると肥料や堆肥などの土づくりにはしっかり投資したいです。栽培に関しては、目先の新しい技術に頼る前に基礎を押さえないと効果が出ないと思っています。他人の園地や、評判だけで判断するのではなく、実際に自分で触れて判断をしたいと思っています。



生産指導審議会では柑橘指導員とも意見を交わす



防除暦も現場の意見を反映して更新されている

共済課
ライフアドバイザー(LA)

生活プランをお聞きしながら
一緒に最適な保障を考えます。

平山、上尾奈、野地、西平、
東天、御園、長根

久米 健太

岡本、本坂、鶴代、大崎南、
西天、日比沢

外山 福嗣



山崎 喬志

大谷北・南、北平、上神、
駒場、新田、宇志

外山 群

大福寺、津々崎、大崎東、
下神、西町、只木、大崎西

外山 大悟

下尾奈、南平、東町、
摩訶耶、釣、佐久米

金融課
渉外担当者(MA)

お金のアドバイザーとして、
貯金・年金・融資の
ご相談に伺います。



藤田 大輝

上神、下神、東町、東天、
岡本、御園、摩訶耶、
只木、大福寺、長根、平山



藤巻 颯斗

西町、西天、宇志、津々崎
釣、日比沢、本坂
鶴代、下尾奈、上尾奈



杉田 喬亮

新田・南平・西平・野地
北平・大崎東・大崎南・大崎西
大谷南・大谷北・佐久米・駒場

本所エリア

支所エリア

- 共済課
課長 清水智幸(組合長直轄監査室長)
課長補佐 加藤 亮(同課LA係長)
LA係長
山崎喬志(生産資材課生産資材係長)
保全係長 山本大輔(同課事故係長)
杉田麻実(総務課)
藤原沙耶香(金融課)
外山 群(組合員生活課)
外山大悟(金融課都筑支所)
- 営農柑橘部
柑橘販売課
木下愛理(柑橘指導課)
特販課
特販係長 東 彰信(総務課庶務係長)
営農支援課
藤井郁美(組合員生活課)
竹下 彰(金融課)
- 生活経済部
生産資材課
生産資材係長
山本一善(営農支援課支援係長)
組合員生活課
中澤祐太(共済課)
葬祭センター
金子雄己(オートパーク)
オートパーク
河西 翼(柑橘販売課)

令和7年度に皆さまを担当する、指導員や渉外担当者をご紹介します。

＼ 私たちが皆さまを担当します！ ＼

こんにちは三ヶ日町農協です

JA
職員
通信

柑橘指導課
柑橘指導員

ミカン作りを
サポートします



大野 秀樹

岡本・御園
只木・北平



佐野 典子

三ヶ日・津々崎
平山・鶴代



山本 輝弥

本坂・下尾奈
大崎・佐久米



佐藤 祥

摩訶耶・長根・新田
南平・駒場



近藤 海斗

摩訶耶・長根・新田
南平・駒場



古橋 優希

宇志・西平・野地
大谷南・大谷北



杉本 光義

大福寺・釣
日比沢・上尾奈



河西 翼



富永 一郎

オートパーク 渉外担当者



縣 賢治

洋ラン・花き・イチゴ・
米・ふれあい市



長坂 享賢

落葉果樹・果菜・
常緑果樹

特販課
農産センター

三ヶ日町農協人事異動

・昇進(係長以上)と他部署異動の職員を掲載。
()は旧部署名と役職です。

- 組合長直轄監査室
室長(副部長待遇)
二橋厚仁(共済課長(副部長待遇))
- 総務部
総務課
庶務係長 赤羽匠磨(特販課特販係長)
青柳絵里(金融課)
坪井 咲(金融課都筑支所)
小出美の里(組合員生活課)
- 金融共済部
金融課
都筑支所
杉田喬亮(共済課)
竹下優実(柑橘販売課)

こんどう かいと
近藤 海斗 ミケ日町

柑橘
指導課

- ①大学で研究した、青島の隔年結果を是正する「片面交互結実栽培」を広め、生産者の皆さんの収入を安定させ、「ミケ日みかん」というブランドを今よりも強くしていきたいです。
- ②最初は分からないことが多くご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、元氣なあいさつを欠かさず、精一杯頑張ります。また、組合員の皆さんのためのJA職員になれるよう常に声を聞き、ミケ日というミカン産地を強くしていきたいです。これからよろしくお願いします。



なかむら たすく
中村 扶 富塚町

柑橘
販売課

- ①農業分野におけるIT技術の導入を推進したいです。例えば、農業の生産管理やデータ分析を活用して、作業の効率化や収益性の向上を図りたいと考えています。
- ②農協の役割は、単なるサービス提供者ではなく地域農業を支える大切なパートナーであると考えています。ミケ日町の持続可能な発展のため、最大限努力し頑張っていきます。



特販課

えいとく きょうへい
永徳 京平 泉

- ①地域の皆さんと信頼関係を築き、共に農業の未来を考えていきたいです。生産者の皆さんの声を受け止めコミュニケーションを図り、困りごとや問題を解決して安心な商品をお客様にお届けできるよう頑張ります。少しでも貢献できるように全力で取り組みます。
- ②私の強みは、12年続けてきた野球から得た「根性と粘り強く物事に取り組むこと」です。どんなに難しい課題に直面しても諦めずやり遂げる自信があります。また、周りの人と協力して仕事を進めることを大切にします。意欲的に知識や技術を学び、常に自身のスキルアップを目指していきたいです。



せき すずほ
関 涼帆 入野町

柑橘
販売課

- ①組合員の皆さんが相談しやすいよう、常に笑顔で接することを心がけていきます。さらに、ミケ日みかんの魅力を伝えて、より多くの消費者にミケ日みかんを購入してもらえよう努めていきたいです。
- ②これから組合員の皆さんと関わっていく中で、至らない点が多くご迷惑をお掛けすると思いますが、笑顔で頑張っていきますので、よろしくお願いします。



生産
資材課

すがぬまりょうすけ
菅沼 亮佑 細江町

- ①営農のための販売事業に携わりたいです。具体的には、ミカンに関わる仕事をしてみたいと思っています。
- ②私は幼い頃から野球をしており、明るく元氣な性格です。組合員の皆さんやお客様に笑顔届けられるよう、一日も早く仕事を覚え、明るく元氣に接していきたいと考えています。



開講式では、一人ずつ自己紹介と抱負を発表

よろしくお願いします!



9名の新入職員が加わりました。
これからの仕事の心構えを
聞きました。

JA
職員
通信

こんにちはミケ日町農協です

令和7年度新入職員

- ①農協職員としてやりたいこと
- ②自己PR

ふじまき はやと
藤巻 颯斗 入野町

金融課

- ①高校で取得した資格や学んだことを生かし、金融やミカンに関わる仕事をしたいです。
- ②持ち前の明るさと10代の若さを活かして、常に笑顔で、組合員の皆さんに寄り添える職員となり、ミケ日町全体を盛り上げていきたいです。



みやもと ひさ
宮本 光彩 呉松町

金融課

- ①地域農業を支えるため、組合員の皆さんと共に楽しいことも難しいことも乗り越えていきたいと考えています。そのために、まず挨拶から意識していきます。
- ②不慣れなことが多いと思いますが、精いっぱい頑張ります。これからよろしくお願いします。



おおた ふうか
太田 風香 細江町

金融課
(都筑支所)

- ①先輩の職員の皆さんから多くの業務を学び、一つひとつの仕事を正確にこなして、ミケ日町の農業と組合員の皆さんの生活を支援したいです。
- ②一人でも多くの組合員さんに笑顔になってもらえるように、心を込めた対応をしていきたいです。よろしくお願いします。



まつ い きぬか
松井 絹花 雄略

共済課

- ①ミカンと地域のことをたくさん知り、窓口業務を通して皆さんの安心な生活をサポートしていきたいです。
- ②持ち前の明るさと笑顔で親しみやすい対応を心掛け、組合員や地域の皆さんが気軽に相談することができる職員を目指します。

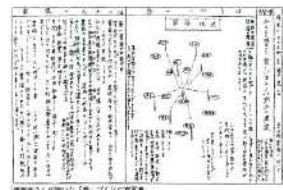


生産者訪問

新入職員研修でミカン、イチゴ、牛の生産者を訪問。生産についてや農協との関わりなど、さまざまな話を伺いました。

わら半紙から始まった夢、 有線放送事業開始に向けて

令和6年3月31日、三ヶ日町農協有線放送事業が終了しました。開局から64年にわたり農協と組合員、地域を結んできた有線放送。あらためてその歴史を振り返り、記録に残すため「三ヶ日町農協アーカイブ」を連載していきます。公式HPでも連載していきますので、あわせてご覧ください。



原指導員手書きのわら半紙が有線放送の出発点



伊勢湾台風の被害も農青連盟友の協力で乗り越えた



交換手は当初6人、昭和40年代には12人に



昭和35年当時の有線放送機器

三ヶ日町農協で有線放送事業が始まった経緯は、昭和25年に貯払い停止・再建整備組合となった農協に中央会から原茂吉再建特別指導員が派遣されたところから始まります。昭和28年5月、農協青年部の結成準備委員会の席上、原指導員は「将来の三ヶ日町を夢見る」「今日より明日へと楽しい住みよい郷土の建設」と手書きしたわら半紙を配りました。そこには「農協に一億円の貯金ができれば、その金利で全地区へ有線放送が実現できる」という壮大なビジョンが描かれており、地域の未来を拓く希望の光として多くの若者の心をつかみました。

昭和34年の世論調査で多数が有線放送は必要と回答し、本格的な有線放送事業の準備が始まりました。同年9月には1670本もの電柱が次々と運び込まれました。しかし、伊勢湾台風が襲来し、三ヶ日駅前に積まれていた電柱は押し寄せた水で流されるなど工事はつまずきました。実情を知った青年部が工事手伝いの労力提供を申し出て、200人余りの盟友が協力してくれました。ミカンが色づく頃には、架線工事が始まり、農協事務所の西側には放送室と交換室が建設されました。

昭和35年3月21日、共電式60回線、加入数1225戸（1回線平均16戸加入）、基本料1ヵ月200円で三ヶ日町農協の有線放送が開局しました。構想から7年後の始動でした。

有線放送の歴史 (1952～1960年)

昭和28年1月
再建整備組合に原茂吉特別指導員が中央会から出向

昭和28年
原指導員の提言で農青連結成が進められ、準備委員会で「将来の三ヶ日町を夢見る」と書かれたわら半紙が配られる。紙には全地区への有線放送実現のビジョンが記されていた

昭和28年7月
月刊機関紙＜農協ニュース＞発行開始、昭和35年3月で休刊（有線放送の誕生により番組編成や取材活動に人手が必要となったため）

昭和34年5月
農青連盟友の強い要望で世論調査を実施（多くの人が有線放送が必要と回答）

昭和34年9月
伊勢湾台風襲来。三ヶ日駅前に積んでいた有線の電柱が流されるアクシデント発生。事情を聞いた農青連盟友200人あまりが労力を提供。町内各地に電柱を運び、建柱に協力

昭和34年11月14日
起工式
昭和34年当時、農協固定資産残高700万円。この二倍以上の1600万円が有線放送施設事業費としてかけられた。
当初の有線加入希望戸数は1163戸（組合員数1316戸に対し約88%の加入率）
基本料金1ヵ月200円

昭和35年3月21日
有線放送開局
共電式60回線（加入戸数1225戸）

※アーカイブ（archive）とは、古い記録やデータを長期的に保管しておく場所や機能を指す言葉です。デジタルアーカイブとは、紙媒体をデジタル化し、長期保管や検索しやすくするためのものです。

三ヶ日町農協アーカイブは 公式ホームページでも連載！

紙面で紹介しきれなかったアーカイブの写真や、詳しい記事などはJAみっかび公式ホームページで毎月連載していきます。是非こちらもチェックしてみてください。



←有線の提唱者
原茂吉指導員
(中央)



山本 修平(46)
組合員生活課
入職24年目

職員通信
組合員生活課の組織係長として、農青連と女性部事務局の活動にも携わっています。組合員の皆さんが意見を言いやすく、楽しく組織活動ができる環境作りを心掛けています。組合員からも職員からも信頼される職員でいたいと思います。趣味は読書です。小説をはじめ郷土史なども読み、あらためて地元の歴史を知る楽しさを感じています。



3月をもって
4名の職員が退職しました

組合員の皆さまへお礼とご挨拶



山本 理恵

前 共済課保全係長
(平成4年入職)

平成4年入組以来、多くの皆さまに支えられここまで動めることができました。大変お世話になり、心より感謝申し上げます。これまで学んだ経験や思い出を大切に、今後の人生を歩んでいきたいと思っています。本当にありがとうございました。



長坂 彰

前 総務課付（三農サービス）
(平成14年入職)

23年間、皆さまに支えていただきながら働くことができたことを心より感謝申し上げます。退職後も、これまでの経験を生かして努力してまいります。本当にありがとうございました。



坪井 信人

前 組合員生活課葬祭センター
葬祭主任
(平成19年入職)

18年間、組合員の方々をはじめ多くの方々にお世話になりました。在職中に学んだこと、経験したことを今後の人生に生かしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。



中嶋 大知

前 特販課
(令和5年入職)

2年間という短い間でしたが、組合員の皆さまや役職員の皆さまには本当にお世話になりました。未熟ながら温かく接していただき、多くのことを学ばせていただいたことに感謝しています。ここでの経験を大切に、今後に生かしていきたいと思っています。これからも皆さまのご健康と、ますますの発展を心から願っています。本当にありがとうございました。

TOPIC

【経営計画発表会】

4月3日(木)三ヶ日文化ホールで経営計画発表会が行われました。新入職員紹介、組合長講和、各部の部長による事業計画発表、SDGsプロジェクトの活動発表などが行われました。最後は、がんばろう三唱で全員の意識を統一し、新年度への決意を新たにしました。





花を保たせて生産量確保を 町内25会場で着花調整座談会



4月21日、長根の園地で実演する佐藤指導員と近藤指導員

カンの開花に向けて町内25会場で着花調整座談会が行われました。園地によってバラツキがありますが、全体的には令和7年度は裏年の様相です。そのため本年は、少ない花を保たせていかに生産量を確保するかが課題となり、ロスの少ない生産管理が重要になってきます。

長根の会場では佐藤 祥柑橘指導員が「裏年傾向の今年は、外観不良果などで摘果が増えると生産量にも影響するため、防除のタイミングがとて大切。カメムシの越冬数も多いため、大量飛来を招く前に薬剤散布で対策を」と呼びかけました。同時に、アカマルカイガラムシやミカンサビダニなどの発生源の多くは農薬の掛かりにくい樹上部や内部が中心となるため、対象病害虫の住処を狙うよう防除のコツを伝え、土壌改良資材や施肥についても説明しました。座談会では参加者との質疑応答が行われたほか、片面交互結実法の流れについても解説がありました。

園地では芽かき処理や手直し剪定の実演を指導員が行い、各園地での実施を呼びかけました。

農協らしい農協運営を 井口組合長が 農協特別功労者表彰

3月7日の全国農業協同組合の臨時総会で、井口義朗組合長が農業協同組合特別功労者として表彰されました。この賞は全国の中で、農業協同組合の発展に著しい貢献があった人物から選定されています。

井口組合長は「今回の栄誉は、農協らしい農協への追求が実を結んだもの。協同組合の理念に立ち返り、農業を軸に地域、社会全体にも貢献できる農協運営を目指したい」と話しました。



特別功労者表彰の受賞者

三ヶ日町農協が 市民協働奨励賞

三ヶ日町農協は浜松市から市民協働奨励賞の表彰を受けました。三ヶ日みかんの柑橘選果場を災害時の避難場所を提供する自治会との協定や、長年の地元幼稚園へのミカン配布活動などが評価されたものです。浜松市市民協働センターで行われた表彰式で中野浜松市長は「地域の持続可能性を高める連携に感謝。活動の広がりや厚みが増している」と受賞者を称えました。



表彰式には森田専務が参加



特別なミカンジュース「純しぼり『極』」発売 飲み比べセットでミカンの魅力を提案



飲み比べセットはギフトにも使いやすい化粧箱入りで2,646円(税込)



720mlの大瓶が1,512円(税込)、200mlの小瓶が405円(税込)

農協特販課では4月から「濃蜜青島」果汁を100%使用したストレートジュース「純しぼり『極』」の販売をスタート。特産物直売所と特産センター、公式オンラインショップのみで購入できる限定品です。素材に使用される青島温州「濃蜜青島」は、太陽光を反射して余分な水分を遮断する特別な方法で栽培され、名前の通り味も色も濃厚なミカン。加工にもこだわり、果皮を手剥きして搾汁することで芳醇なミカンの風味を存分に味わえると根強いファンも多い人気商品です。

特販課では、3月に発売した新商品「三ヶ日みかん粒入りドリンク」や定番の「あおしまミカンジュース」「三ヶ日みかんサイダー」「純しぼり『極』」の4種類各2本を詰め合わせた飲み比べセットも同時販売して展開。濃厚さやコク、果肉感、爽やかさなどそれぞれ特徴を楽しんでもらい、ミカンの魅力と奥深さを提案していく狙いです。



初生衣神社の例大祭 おんぞ祭りの行列

4/12

遠州織物発祥の地とされる初生衣神社の例大祭「おんぞ祭り」が行われました。遠州地域の織物業の発展を祈願する伝統行事です。織物関係者や地域の人たち約100人がのぼり旗を掲げて初生衣神社を出発、濱名惣社神明宮の天棚機媛命社へ向かいました。そして、御衣を受け取り、初生衣神社に供えました。参列者には、権禰宜の鈴木鮎美さんが例大祭のためにデザインした限定ラベルが貼られた神酒などの記念品が配られました。

初生衣神社は久寿2年(1155年)の平安時代から今年で御鎮座870年を迎えます。老朽化していた織殿は今年修復を終え、1月25日には織殿竣工奉告祭が執り行われました。鈴木栄男宮司は「地元の皆さまをはじめ多くの方の協力のおかげで織殿が修復でき、感謝している。三ヶ日町の一つのシンボルとして、今後心も寄せていきたい」と話しました。



歴史あるおんぞ行列



織殿竣工奉告祭の様子

三ヶ日ぶどう部会 栽培講習会

3/28



芽かきのポイントを学ぶ生産者

今年で部会設立5周年を迎える「三ヶ日ぶどう部会」はシャインマスカットを三ヶ日町の夏の特産物にしようと部会員同士が協力しあい、生産に励んでいます。3月下旬の芽かき講習会には5軒10人の生産者が参加し、園地巡回しました。職員からは「芽かきは全体の成育を揃えるために行う。どれだけ成らせるかを今の段階からイメージして」とアドバイスがありました。部会長の高平政和さんは「部会発足当時よりメンバーも増え、今年は出荷量も増える予定。三ヶ日町がブドウの産地として知られるようPRしていきたい」と話します。シャインマスカットの収穫、販売は7月中旬を予定しています。

ふれあい市 出荷者の会総会

4/21



ふれあい市の詳細は3月号を参照

ふれあい市出荷者の会が総会を開きました。多くの出荷者が出席し、上程した全議案が承認されました。総会では苗配布や農業安全使用講習会など今後の事業計画が伝えられました。出荷者の会では、随時ふれあい市の出荷者を募集しています。詳しい手続きなどは「くみあいだより3月号」をご覧ください。



挨拶する永田晴教会長

第73回三ヶ日町農協青年連盟通常総会



一年間よろしくお願ひします

2025年度委員の紹介

農学部



諸鍛治 丈史 (北部支部)



山本 清陽 (只木支部)

部長



清水 拓磨 (長根支部)



大野 秀樹 (東部支部)

部長

総務部



中澤 祐太 (組合員生活課)



杉田 喬亮 (尾奈支部)

部長

広報部



河部 裕真 (平山支部)



河合 勇喜 (西部支部)

部長

事業部

農青連活動のお知らせ

今年の活動予定については三ヶ日町農協HP等を通じてお伝えしていく予定です。



全員参加が、 地域をつなぐ



令和7年度農協青年連盟委員長(西部支部)

ふじ わら しょうじ
藤原 将司 (38)

愛知県で就職後、平成23年就農、ミカン生産者。

【仲間づくり、一緒に成長】



令和7年度農協青年連盟副委員長(尾奈支部)

さい どう ゆういち
齋藤 雄一 (37)

平成31年に就農し、7年目。就農前は農協職員として金融・共済で渉外などを担当。

【一人はみんなのために】

2025年度の活動が始まりました。4月19日に総会が開かれ、委員長に藤原将司さん、副委員長に齋藤雄一さんが就任しました。今年の活動について対談形式でお届けします。

—今年の農青連の目標は？

藤原…今年の目標は「全員参加」です。すべての盟友が、いずれかの活動に一度は参加して一年を終えたいです。

会社員からリターン就農して一年、同世代の仲間がいなかった農青連に入りました。就農のきっかけでもあった父の勧めです。初参加は全体交流会。その日をきっかけに打ち解け、様々な話ができる関係性ができました。一生、忘れない思い出です。

齋藤…僕は元は農協職員で、実家も農家ではありません。結婚を機に、就農して今に至ります。職員時代はなかなか平日の参加は難しくても、実際に出てみたら楽しくて、顔も繋がっていき、信頼関係ができました。就農して通年で参加できるようにになると、より楽しくて、その良さを実感しています。

—どんな活動をしていきたい？

藤原…意義のある、楽しい活動をしたいです。町内の小学生とのトウモロコシ作りは今年も続けて、農協祭でもポップコーンを一緒に販売したいと思っています。

齋藤…楽しむ時はとことん楽しむ！真剣に取り組む時は、真剣に！将来振り返って、思い出を笑って語り合える、メリハリのある活動にしたいですね。そして盟友同士の交流はもちろん、活動を通して

て農青連と地域の皆さんをつなぐ架け橋になりたいと思っています。

藤原…例えば参加した小学生が中学で再会した時、共通の話題になるし、農協祭では消費者との交流にも貢献していると思っています。

かつてメンバーが200人いた時代もあります。が、今は100人を切りました。それだけに活動の意義はこだわって、内容も工夫していきたいですね。齋藤…今年は農協職員が参加しやすいよう、配慮してくれるとも聞いています。初参加の方はもちろん、たくさんの方の顔を見ることを楽しみにしています。

—みんなに伝えたいことは？

藤原…昔と比べれば人数は減っていますが、農青連の熱意や活気は変わっていません。仲間づくりをきっかけに地域や農協を支える次世代の人づくりの場だと思っています。

齋藤…こうした組織の意味も、組合員・地域の方に広く知ってもらいたいです。活動を通じて三ヶ日町を盛り上げていけるように僕も全力で頑張ります。

藤原…「三ヶ日に帰ってきたなら、農青連に入りなよ」と周りが勧める組織として次世代へ残したいです。農家だけでなく様々な業種の人達が一緒に活動する農協青年組織は全国的には珍しくて、勉強や懇親を通じて地域の将来を話し合える貴重な場になっています。

まずは気軽に参加して楽しみましょう。そして、たくさん仲間を作りましょう。自身の成長を通じて、一緒に三ヶ日町を盛り上げていきましょう！



女性部
通信



令和7年度女性部長

桐生 眞枝

元気で豊かな地域を
みんなの力で♡

木々の緑が濃さを増し、若葉を渡る風に夏の気配を感じる季節となりました。日頃は女性部活動にご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。去る4月19日に女性部総代会を三ヶ

日町農協ふれあいセンター第1研修室にて開催し、各支部の支部長・班長が出席しました。総代会では上程した全議案が無事承認されました。

令和6年度は女性部員同士の交流促進のため女性部全体で「スポーツフェスティバル」「日帰り研修」などを実施しました。また、24もの充実したふれあい講座には大勢の女性部員が積極的に参加し、活動しました。さらに、SDGs活動（まーくんの資源回収箱によるエコネットみっかびへの協力、フードドライブ活動）の継続や、農協祭での女性部展やミニチャリティバザー開催など、みんなで工夫して取り組みを行うなかで女性部活動の絆がいつそう深まる年になったと思います。

さて、令和7年度の女性部事業がスタートいたしました。今年度は「J A女性部3か年計画「元気で豊かな地域をみんなの力で♡」の初年度として、食と農を基軸に豊かな地域社会の実現に向けた助け合い活動や環境保全活動、組織活性化に向けた仲間づくりに取り組みます。そして、女性部員が世代を越えてつながり、女性部活動を通じてJ Aや地域でこれからも輝いていくことを目指します。活発な女性部活動を展開してまいりますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



まーくんの資源回収

〈1〉食を守り、農業を支えよう

●食や農業を次代につなぐために、食農教育活動や伝統食の継承に取り組みます。

●料理教室等の活動を通じて、地産地消や国産品の促進を図ります。

〈2〉豊かな地域社会をつくろう

●暮らしやすい地域社会の実現に向けて、助け合い活動に取り組めます。

●環境保全活動や防災活動、食品ロス削減など、SDGsを意識して取り組みます。

〈3〉組織活性化に向けた仲間づくりをしよう

●女性部の魅力をPRするために、情報発信を強化します。

●女性部やJ Aの存在意義を理解するための学習活動に取り組めます。

〈4〉J A運営への参画をすすめよう

●部員家族間の世代交代を防ぎ、一人ひとりが積極的に女性部活動を行うために一世帯の部員複数制を推進します。

●J A常勤役員との交流を通じて、相互の理解促進を図ります。

これらの活動項目を女性部員一人ひとりが仲間と共に実践し、地域の中で輝けるよう明るく楽しく女性部活動を進めてまいります。

〈二人ひとりが部員となり活動を〉

以前から推進しております一世帯の部員複数制にさらに力を入れていきます。今年度も「女性部活動に参加する全員がそれぞれに部員登録を行う」こと、とします。ふれあい講座を利用する方や加工室でミカンの瓶詰め加工・みそ加工を行う方は参加者本人がそれぞれ部員登録をし、女性部活動をしていただくようお願いいたします。



支部ごとにミカンの瓶詰め作り

〈フレッシュミズ世代のつどい場所〉

J A女性大学「フレッシュミズカレッジ6期生」が昨年からのスタートしています。町内に住む45歳以下のすべての女性を対象に第6回「フレッシュミズのつどい」を昨年7月に開催し、現在14人のフレッシュミズ生が受講中です。

「フレッシュ」を修了した若い女性たちによる自主活動グループ「みかんちゃん（1・2期生）」「サン3オレンジ（3期生）」「Forまんだりん（4・5期生）」は今年も農協に集ってさまざまな活動をしていきます。

同世代で楽しく交流していただき、農協事業や女性部活動の魅力を伝え、若い世代の加入促進につなげていきます。



フレッシュミズ6期生

〈仲間作りと学びの機会を広げる〉

今年度のふれあい講座は防災やヘルシースイーツクッキングなど新しい講座も含め、料理、手芸、文化、健康、福祉に関する24講座を開催し、学びやスキルアップの場を多彩に展開してまいります。これらの講座に積極的に参加することで、自身の啓発と仲間づくりにつなげていきたいと思います。

女性部員の皆さまと共に明るく楽しい女性部活動を進め、女性部員の輪、地域の輪を少しでも広げて女性部の発展、活性化につながりますよう微力ながら努力してまいります。また、部員一人ひとりが女性部活動を通して夢や願いを実現し、仲間とともに女性として地域の中でますます輝けるようにがんばりたいと思いますので、一年間よろしくお願ひいたします。



ふれあい講座「女性部柑橘勉強会」の様子

お知らせ

女性部ではInstagramを運営しています。ふれあい講座など女性部活動の様子を発信しています。登録がまだお済みでない方は、下記QRコードより登録をお願いします。



JAMIKABI.JOSEIBU



今年度の役員です。1年間よろしくお願いします！

穂子 紀子 子花 香子
夏 陵 美 文 尋 知 美 洋
藤 合 西 山 野 原 橋 崎 藤 本
谷 河 河 外 小 石 二 川 伊 山
沢 坂 代 奈 奈 筑 崎 谷 米 場
比 日 本 鶴 下 上 都 大 大 佐 駒
枝 美 織 美 子 恵 子 美 美 愛
眞 裕 紗 春 あ 純 あ 弓 友 明
生 川 立 村 鍛 谷 本 川 水 田
桐 鴨 足 中 諸 大 山 鴨 清 森 井
長 日 志 本 園 木 寺 根 山
副 部 長 三 宇 岡 御 只 大 長 平
部 長 三 宇 岡 御 只 大 長 平

(敬称略)

活動報告

女性部総代会開催
今年度の事業が
スタート

J Aみっかび女性部は4月19日、三ヶ日町農協ふれあいセンター第1研修室で総代会を開きました。女性部長の挨拶に続き、支部表彰の発表があり、支部活動の部では、平山・長根・大福寺・大谷、共同購入の部では大崎・岡本がそれぞれ優秀賞を受賞。表彰支部には賞状も贈られました。



前年度の女性部正副部長には井口組合長より感謝状が贈られた

5月～7月の管理 適切な着果管理を

昨年の着果量が多かった影響や、夏場・冬場の乾燥、強風などによって落葉した樹が見られ、園地によって生育状況にバラつきがあります。着花が少ない樹では芽の整理等をして生理落果の抑制に取り組むことが重要になり、着花の多い樹では早期摘果に取り組むことがポイントになります。

●防除

令和7年柑橘病害虫防除暦を参照に実施してください。天候が不安定な季節に入りますので、天気予報を確認して計画的に防除を行ってください。例年この時期の雨で黒点病やそうか病の発生が増加します。発生源となる枯れ枝や感染した枝葉はしっかりと切除するようにしてください。

また、樹勢回復や緑化促進を目的に液肥の散布を行ってください。

散布時期	使用液肥	使用倍数	備考
開花～緑化完了まで	プロテアー（青）	800倍	（10-5-3）微量要素含有

※銅剤と液肥は、混用できないので注意

着花(果)の少ない樹の管理

●芽かきで花を保つ

花の近くにある芽をかくことで、花に養分を行き渡らせて生理落果を軽減することができます。



●かぶさり枝の除去

着花(果)が少なく新梢の発生が多い樹は、枝が混み合っている状況です。少ない果実を大切にするためにも、継続して行うようにしてください。



着花(果)の多い樹の管理

摘蕾や有葉花摘蕾、手直し剪定を行い、次年度の結果母枝の確保を行うようにしてください。とくに発芽が見られない樹では、樹勢の低下が心配されますので、発芽を促す管理を行いましょう。

また、着果負担軽減、小玉果是正のためにも早期摘果を行ってください。



摘蕾処理2週間後の発芽の様子

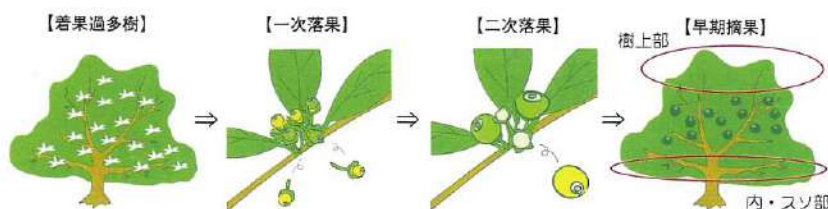
●早期摘果終了目安

- ・早生温州（6月下旬まで）……樹上3分の1全摘果と内スソ成り果の摘果
 - ・青島温州（7月上旬まで）……樹上3分の1全摘果
- ※新梢がないような着果過多樹には摘果範囲を拡げ、樹上2分の1全摘果にしてください。
- ※早期の摘果では、着果量を減らすことを心掛けてください。

新梢が出ていない樹では樹勢の低下が心配されます。**着果の多い樹は二次生理落果の様子を見て早期摘果や樹冠上部全摘果、枝別全摘果などを行い、夏芽を発生させて樹勢の回復をはかってください。**



柑橘指導課
佐野 典子



みんなの
お気に入りの
コーナーはどれ？



「ちやぐりん」を楽しそうに読む三ヶ日東小学校6年生児童

「ちやぐりん」で

楽しく農業を学ぼう！

新学期がスタートして間もない4月、三ヶ日町農協の森田泰行専務が町内4つの小学校を訪問し、子供向け食農教育雑誌「ちやぐりん」を寄贈しました。

「ちやぐりん」は家の光協会が発行する月刊誌で、農業やSDGsをテーマにした記事や漫画、旬の野菜を使った料理レシピなどが掲載されています。

三ヶ日東小学校の中村圭介校長先生は、「子供達が早く読みたくて、教室で取り合いになるくらい人気が高い雑誌。『次の号はまだ届かないの?』と聞かれることもあり、子供達の楽しみになっている。毎月届けて頂

るのはありがたい」と話しました。

届けた「ちやぐりん」を教室で読む子供達の様子を中村校長先生と一緒に見守った森田専務は、「『ちやぐりん』には農業のことが分かりやすく書かれている。子供達が楽しく読んで、農業への理解を深めたり、農業に興味関心を持つたりするきっかけになれば嬉しい。毎月心待ちにしている子供も多いと聞き、届ける側もやりがいを感じる」と話していました。



坂本友彦校長先生と三ヶ日西小学校6年生代表児童



工藤幸徳校長先生と尾奈小学校5、6年生児童



縣倫子校長先生と平山小学校5、6年生児童

